

# 第6回知識共創フォーラム プログラム

2016年3月12日(土) 1日目

|     |               |   |         |         |
|-----|---------------|---|---------|---------|
| I   | 10:00 - 10:05 | 開催挨拶・趣旨説明   |         |         |
| II  | 10:05 - 12:05 | 一般セッション   | 発表 0:20 | 議論 0:20 |
|     | 10:05 - 10:45 | G1 小売・飲食・宿泊業における経営者意識と顧客文脈情報取得の標準・選択手法との関係<br>増田央 (JAIST)   |         |         |
|     | 10:45 - 11:25 | G2 Employee behaviors leading the customer satisfaction at service encounter:<br>A case study of Vietnam retail banking sector<br>Nguyen Chinh Thi Kieu and Kunio Shirahada (JAIST) |         |         |
|     | 11:25 - 12:05 | G3 多職種連携における知識共創を促進するための、思考スキーム法の改善<br>神山資将(一般社団法人知識環境研究会)  |         |         |
|     | 12:05 - 13:10 | 休憩(昼食)  |         |         |
| III | 13:10 - 14:10 | インタラクティブセッション   |         |         |
|     | 14:10 - 14:20 | 休憩  |         |         |
| IV  | 14:20 - 15:30 | シーズセッション  | 発表 0:15 | 議論 0:20 |
|     | 14:20 - 14:55 | S1 : 現状の交通行動調査にもとづくJAIST—金沢間バスの需要推計<br>戴 海敏, 藤村 大樹, 藤原 正幸, 日高 昇平, 佐々木 康朗 (JAIST)  |         |         |
|     | 14:55 - 15:30 | S2 : 公式組織の知識移転・活用モデルの提案<br>伊藤朝陽, 白肌 邦生 (JAIST)  |         |         |
|     | 15:30 - 15:40 | 休憩  |         |         |
| V   | 15:40 - 17:40 | 一般セッション   | 発表 0:20 | 議論 0:20 |
|     | 15:40 - 16:20 | G4 : 人工言語の共創課題を用いたことばへの気づきの誘発に関する試み<br>金野武司, 橋本 敬 (JAIST)   |         |         |
|     | 16:20 - 17:00 | G5 : 語感知識を用いた英語句動詞学習支援システム<br>田川友瑛, 由井蘭 隆也 (JAIST)  |         |         |
|     | 17:00 - 17:40 | G6 : バイオリン奏者の運指決定における認知的メカニズムの研究<br>齊藤壘, 田柳 恵美子 (公立はこだて未来大学)  |         |         |
|     | 17:40 - 18:30 | 移動  |         |         |
| VI  | 18:30 - 20:30 | 懇親会@JIM HALL(金沢市片町1-5-15 関ビル3階)   |         |         |

# 第6回知識共創フォーラム プログラム

2016年3月13日(日) 2日目

|                               |  |   |                               |
|-------------------------------|--|---|-------------------------------|
| VII                           | 9:30 - 11:40                                   | テーマセッション「サービスシステムと知識共有」 発表 0:20                               |                               |
|                               | 9:30 - 9:50                                    | T1: アート利用ツーリズムサービスにおける知識共有<br>-金沢クリエイティブツーリズムと紀の国トレイナートの両事例より |                               |
|                               |  | 坂本英之(金沢美術工芸大学), 中村孝太郎((株)イー・クラフト/JAIST)                       |                               |
|                               | 9:50 - 10:10                                   | T2: コンヴィヴィアリティのサービスモデル -交歓するソーシャルツーリズム-                       |                               |
|                               |  | 田柳恵美子(公立はこだて未来大学)   |                               |
|                               | 10:10 - 10:20                                  | 休憩  |                               |
| 10:20 - 10:40                 | T3: 共創的ターミナルケア (Co-creative Terminal Care) の提案 |   |                               |
|                               | 神山資将(一般社団法人知識環境研究会)                            |   |                               |
| 10:40 - 11:40                 | 総合ディスカッション                                     | 議論 1:00   |                               |
|                               | 11:40 - 12:40                                  | 休憩(昼食)  |                               |
| VIII                          | 12:40 - 13:55                                  | 招待講演  | 講演 0:50 質疑 0:25               |
|                               | 12:40 - 13:55                                  | サービス・グローバリゼーション: 価値共創の知識移転プロセス                                |                               |
| 講演者: 藤川佳則 准教授(一橋大学 国際企業戦略研究科) |  |   |                               |
|                               | 13:55 - 14:10                                  | 休憩  |                               |
| IX                            | 14:10 - 16:00                                  | シーズセッション/一般セッション  | 発表 0:15(シーズ) 0:20(一般) 議論 0:20 |
|                               | 14:10 - 14:45                                  | S3: 数学教育における計算機を用いた知識活用に関する研究<br>~東アジア諸国との比較を通して~             |                               |
|                               |  | 津田真秀(京都教育大学大学院), 黒田恭史(京都教育大学)                                 |                               |
|                               | 14:45 - 15:20                                  | S4: 価値共創を促進する意義はあるか? ~TSL尺度開発に向けた基礎的分析~                       |                               |
| 五島光(経営戦略研究所株式会社)              |  |   |                               |
| 15:20 - 16:00                 | G7: 共有フォルダを介在した組織知識共有                          |   |                               |
|                               | 斉藤典明(日本電信電話(株)/NTTセキュアプラットフォーム研究所)             |   |                               |
|                               | 16:00 - 16:10                                  | 休憩  |                               |
| X                             | 16:10 - 16:30                                  | 閉会挨拶・総括(萌芽研究賞・奨励賞・能美市長賞発表)                                    |                               |

# 第6回知識共創フォーラム プログラム

インタラクティブセッション : 2016年3月12日(土) 1日目 13:10 - 14:10

| Ⅲ 13:10 - 14:10 | インタラクティブセッション   | 議論 1:00  |
|-----------------|---|--|
| 13:10 - 14:10   | <p>P1*: 持続可能な地域資源活用のための行政・県外資本企業・地元企業の共存関係<br/>藤丸紘樹, 増田 央, 神田 陽治 (JAIST)</p> <p>P2*: 向社会的サービスへの参加を促進する知識共有の考察<br/>ホー バック, 周鵬程, 白肌邦生 (JAIST)</p> <p>P3 : 価値共創プロセスとして営業活動<br/>稲水伸行, 生稲史彦 (筑波大学), 佐藤秀典 (横浜国立大学)</p> <p>P4 : オープンデータ活用サービスの収益化を促進する公共データ活用サービス事例の分析<br/>土居孝広, 白肌 邦生 (JAIST)</p> <p>P5 : 共通ポイントによる地域包括ケアシステム財源問題の解決策<br/>岩田俊裕, 橋本 敬 (JAIST)</p> <p>P6 : 論理変更がイノベーション思考に与える影響に関する先行研究<br/>西中美和, 白肌邦生, 神田陽治 (JAIST)</p> <p>P7 : 異文化理解における無自覚な信念の解明への関心を促す学習シナリオの開発<br/>伊藤亜沙利, 松田憲幸 (和歌山大学), 小川泰右 (宮崎大学), 京極真 (吉備国際大学),<br/>瀬田和久 (大阪府立大学), 池田満 (JAIST)</p> <p>P8*: 看護経験を書き表す学び方の学習における論理的な構造に注意を向ける学習環境の設計<br/>鈴木貴之, 松田憲幸 (和歌山大学), 西山大貴, 陳巍, 田中孝治, 池田満 (JAIST)</p> <p>P9 : 看護職者のパフォーマンス表現を用いたメタ思考スキルの自己評価項目の開発<br/>劉朝陽 (北陸大学), 田中孝治, 陳巍, 池田満 (JAIST), 松田憲幸 (和歌山大学)</p> <p>P10: 病院看護組織の学び方の学習を志向する思考プロセスの記述の活用<br/>中島仁喜, 松田憲幸 (和歌山大学), 田中孝治, 池田満, 西山大貴, 陳巍 (JAIST)</p> <p>P11: 視線情報に基づく思考外化プロセスの分析<br/>林佑樹, 瀬田 和久 (大阪府立大学), 池田 満 (JAIST)</p> <p>P12: 記号コミュニケーション理解のための脳波位相同期ネットワークによる二者間相関解析の提案<br/>藤原正幸, 橋本敬 (JAIST)</p> <p>P13: 世界知識による医学単語の意味を考慮した単語重み付け手法<br/>松尾亮輔, HO Tu Bao (JAIST)</p> <p>P14: 解釈学的循環と暗黙的認識による言語コミュニケーションの概念化<br/>前田聡, 橋本敬 (JAIST)</p> <p>P15: ゲーミングによる進化概念の内発的獲得に向けて<br/>外谷弦太 (JAIST)</p> <p>P16: 知識の段階的定着と動機付けのための防災カルタゲーム: 市民避難訓練におけるユーザ行動観察<br/>桑原健悟 (関西大学院), 丸尾恵 (関西大学), 田中孝治, 池田満 (JAIST), 堀雅洋 (関西大学院)</p> <p>P17: ロボットによる対面コミュニケーションへの誘導の分析<br/>小山泰生, 安藤敏彦 (仙台高等専門学校)</p> <p>P18: メンバー間での強みの相互認識がチームパフォーマンスに与える影響<br/>王蕾, 内平直志, 佐々木康朗, 崔舜星 (JAIST)</p> <p>P19: 多肢選択問題における誤選択肢の役割の調査<br/>石橋和樹, 松田憲幸 (和歌山大学), 小川修史 (兵庫教育大学), 平嶋宗 (広島大学)</p> <p>P20: Supporting Metacognition in a Collaborative Environment via Solving Mathematics Word Problem Solving<br/>Tama Duangnamol and Mitsuru Ikeda (JAIST)</p> | <p style="text-align: right;">* テーマセッション関連ポスター</p> |